

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリースマイル大村core		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内・室外ともに十分に体を動かせる環境が確保されています。	毎日約1時間、運動する時間を取り入れることで、体力向上や体幹力アップなど身体的な能力の向上はもちろん、ストレス発散や自己肯定感の向上など精神的な側面においても改善できるよう支援しています。	子どもたちや保護者の方々の意見に耳を傾け、プログラムが固定化されないよう活動内容を精査していきます。また、事業所内で定期的に研修を行うなど、スタッフの運動療育に関する知識及び技能の向上に努めています。
2	日頃から子ども理解に努め、一人ひとりの特性に応じた支援を行っています。	子どもの特性に対して、保育士や理学療法士、児童指導員、児童発達支援管理責任者のそれぞれの目線から見立てをつけ、全職員が情報を共有しながら個々に合った支援を行っています。	支援会議だけでなく毎日の振り返りの中で、子どもに関する小さな気づきを共有していきます。職員間での連携を強化することで、子どもの成長に繋がります。
3	学休日などには様々な外出支援活動を取り入れるとともに、運動量を確保できるような活動プログラムを設定している。	平日には運動がメインになっているので、学休日には様々な経験ができるような活動内容を設定しています。また、その上で事業所の特徴である体を動かす活動をプラスして取り入れることで、学休日にも運動量を確保できるよう努めています。	天候や利用人数の変更など、常に様々な場合を想定して活動プログラムを設定します。また、内容が固定化されないよう日頃から職員間で意見を出し合い、できることや行ける場所を考案していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会が開催されていない。	事業所が開所してまだ1年未満ということもあり、保護者会の機会をとることができていなかった。	今年の3月20日に、フリースマイル3事業所合同による保護者会と発表会、親子レクリエーションの場を設けています。直接保護者の方々の意見を聞く良い機会になると考えています。
2	地域や他事業所、学童などとの交流が少ない。	地域のイベントには参加しているが、他事業所や学童との交流よりも同じフリースマイル内の事業所との交流を優先していた。	地域でのイベントや催しには今後も参加していきます。他事業所と一緒にできる活動があれば、積極的に交流の場を設けていきます。
3	事業所の目の前が道路で車の通りが多い。	立地の問題は変えることができない。	子どもの特性は全職員間で把握し、手を繋ぐ等の支援を徹底しています。また、活動で室外遊びを取り入れる際は、その都度職員の配置を意識しながら支援にあたっています。